

興南高校56期 総合進学コース

宮城 大弥

オリックス・バファローズ

嘉数中学校出身
野球部所属
第99回・第100回全国高校野球選手権大会出場
2019年ドラフト 1位指名

＊興南春夏連覇をみて

興南野球部がカッコよかったので中学2年から興南行くと決めた。興南が春夏連覇したとき、島袋さんが志真志小学校にきてくれたので、その時から興南を意識していた。自分も志真志小に講演に行けてよかった。

―我喜屋監督について―

監督さんは周りを見る人なので、最初は私生活から徹底的に指導された。例えば、清掃を自分たちが完璧にやったと思っていても、やはり裏側の部分ができてなくてもう一度清掃することになったりした。よくみてるなと思った。

―日本代表について―

チームで話し合ったりとかあったので、結構コミュニケーションをとった。自分はいじられキャラ…だった。自分は押せ押せ系ではないので、いじってもらって話しかけてもらいたい。

―甲子園について―

高1の初登板では楽しかったが、後から恐怖を感じた。2回までは自分の力を出せたが、それ以降は智弁和歌山打線にしっかり対応され、どこ投げても打たれるのでビビっていた。甲子園のマウンドの感触は投げやすいが、自分の目線と同じ高さに観客がいるので、それを見てしまうと投げづらかった。第100回大会の時、ピンチを救った瞬間に、これまで頑張ってきた分が今に流れてきたと思った。勝利した時に応援のありがたさを感じた2回目の甲子園だった。

―最後の夏の決勝戦について―

さすがに長かった。フォアボール出したのは覚えているが、それ以外はちょっと…。正直早く終わりたかった。立つのも座るのもきつかった。延長の12回に自分がヒットを打ったが、何も考えきれなくて、走るのもきつかった。自分が最後まで投げ切ったことで後悔はない。



―後輩へメッセージ―

とにかく練習をしっかりやることと、知識をしっかりつけることがチームが向上することに繋がると思うので、そういうことを大事にして頑張ってほしい。甲子園にでるなら近いから応援にいきたい。

1年目から1軍定着したいが、そんなに甘くない世界。スタートが大事と思っているので、しっかり与えられた場面で期待に応えられるように頑張っていきたいと思う。